

福井県公安委員会 開催概要

令和3年2月4日開催 「定例公安委員会」

会議状況

1 包括的案件

〈報告事項〉

(1) W令和2年の刑法犯認知・検挙状況（暫定値）

県警察から、令和2年の刑法犯の認知・検挙状況について報告があった。

委員から「刑法犯の認知件数は戦後最少を更新したということで、大変素晴らしい成果を出されたと思う。コロナ禍の中、給付金詐欺をはじめ様々な犯罪が発生することが予想されるので、犯罪実態に即したパトロールを実施するなど、未然防止に努めていただきたい。」との発言があった。

委員から「刑法犯認知件数だけでなく、重要犯罪の検挙率も高い数値を維持していることに敬意を表したい。見える・見せる活動が功を奏していると思われるので、引き続きご努力いただきたい。」との発言があった。

委員から「この素晴らしい数字は、現場の方々がしっかりと対応していただいた結果だと思う。重要犯罪などの県民に不安を与えるような事件は注目されるので、県民の期待に応えるためにも、今後もしっかりとした対応をお願いしたい。」との発言があった。

(2) 令和3年度当初予算（案）

県警察から、令和3年度の当初予算（案）について報告があった。

委員から「県警察が早急取り組むべき経費については、昨年度に引き続き予算を確保できているようで安心した。この予算を有効に使って県民の安全・安心のために頑張っていたいただきたい。」との発言があった。

委員から「昨年からの施策であるFUKUI SAFETY PROJECTの拡充を図り、中でも昨年交通事故の多かった高齢者に対する交通事故防止対策事業が増額され、非常に心強く思っている。」との発言があった。

委員から「中部縦貫道の全面開通に向け、非常に良いタイミングで大野警察署の建替えを要求されたと思う。警察官や職員の方々が働きやすく魅力的な組織であるためにも、県警察の基盤となる予算の確保が大事であると思った。」との発言があった。



(3) 第11次福井県交通安全計画（案）の概要

県警察から、第11次福井県交通安全計画（案）の概要について報告があった。

委員から「幼少期からの交通安全教育を含め、交通情勢や地域の実態に即した施策を実施していただければと思う。交通事故死者数の目標達成は大変だろうが、安全で安心して暮らせる福井の実現を目指していただきたい。」との発言があった。

委員から「様々な対策の中でも、交通安全に対する県民、特に高齢者の意識をどう変えていくかが、非常に重要な問題だと思う。交通事故死者数の高い数値目標については、過去に難しい数値目標を達成した実績もあるので期待している。」との発言があった。

委員から「高齢者の事故については、少子高齢化や公共交通機関が少ないなど、生活の中で高齢者が自動車を運転せざるを得ない地域環境の問題もある。交通事故死者数の高い数値目標には期待も込められていると思うので、県警察一丸となって達成できるよう頑張っていたきたい。」との発言があった。

2 個別決裁等

(1) 福井県犯罪被害者等支援条例（案）に関するパブリックコメントの実施

福井県犯罪被害者等支援条例（案）に関するパブリックコメントの実施結果について、説明を受けた。

(2) 犯罪被害給付制度に係る遺族給付金支給裁定

福井県公安委員会に対して提出された「遺族給付金支給裁定申請書」に対する支給裁定について説明を受け、これを決裁した。

(3) 定期監査の結果に基づく措置

福井県監査委員による定期監査結果における指摘事項に関する措置状況について説明を受け、これを決裁した。

(4) 警察職員の援助要求の受諾

各関係県公安委員会に行っていた警察職員の援助要求についての、同公安委員会の受諾について報告を受け、これを決裁した。

3 運転免許の処分関係

本日（2月4日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取3件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。